

庄・蔵本遺跡にみる 弥生人のくらし



庄・蔵本遺跡出土木製一本鋤

徳島大学蔵本キャンパス内には弥生時代の始まりごろの大規模集落跡が存在します。弥生時代になると本格的な水稲農耕の開始とともに、人びとの社会や文化に劇的な変化がおきました。これまでの調査成果をふまえて、弥生人の生活の実態について講演いたします。

会場

徳島大学常三島キャンパス
地域創生・国際交流会館3階 共用室301

日時

2019年7月26日（金）10:00～11:30

定員

40名

聴講料
無料

■内容

演題：「庄・蔵本遺跡の調査成果と展望」＋出土品解説・閲覧
講師：端野 晋平（徳島大学埋蔵文化調査室 室長）

■受講方法 申し込みは不要です。

■会場のご案内

- ・徳島駅下車徒歩約30分。
- ・バス利用の場合約20分。バス停「助任橋（徳島大学前）」・「徳島大学南」・「大学前」下車徒歩約5分。
- ・自家用車でお越しの場合、運動場南側の駐車場（無料）をご利用いただけますが、駐車台数には限りがございます。なるべく公共機関を利用しておこください。



主催・問い合わせ先

徳島大学埋蔵文化財調査室

〒770-8506

徳島市南常三島町2丁目1番地

Tel&Fax 088-656-9405

Eメール s_hashino@tokushima-u.ac.jp

ホームページ <http://tokudaimaibun.jp/>